

平成29年度 社会福祉法人日本点字図書館 事業報告

平成29年4月1日～平成30年3月31日

《重点項目》

はじめに

平成29年度は、二つの新たな事業を開始した。その一つは、自立支援事業である。社会参加の可能性の拡大や留まることのない情報環境の変化を背景に、障害を補償する技能の習得に関する視覚障害者のニーズの多様化と顕在化が進んでいる。しかしながら、それに対応するための社会の体制はまだ十分に整っていない。このような状況の改善に役立つことを目的に、当館は自立支援事業を開始した。もう一つの新たな事業は「ふれる博物館」の運営である。視覚障害者には触覚を介して知識を増やす機会を、晴眼者には触覚という視点から視覚障害への理解を深める機会を提供する場の実現を目的に準備を進め、当館分館に小規模な博物館を開設した。これら二つの新規事業には、それぞれの本来の意義に加え、当館の情報提供事業や用具販売事業の利用の拡大に寄与するという副次的な効果が期待できる。

情報提供事業の利用サービスでは、図書等の利用の拡大を図るための取り組みを継続した。その一つとして読者のニーズがより迅速に反映されるよう、選書体制の一部を改めた。また、人気動向や話題性に基づいて当館側で選定した複数のデイジー図書のデータを一まとめにして提供するセレクトパックの企画に力を注いだほか、当館の独自コンテンツであるテレビデイジーについての情報を積極的に発信した。さらに、機器の利用による読書の可能性についての啓発を、用具事業と連携して主に中途視覚障害者を対象に行った。それらの効果を含め、29年度には、新規のサービス利用登録が468件あった。一方、利用サービス部門が実務を担当して当館がシステムを管理している電子図書館・サピエにおいて、書誌情報の形態の改変に備えるための大規模改修が喫緊の課題となっていることから、必要な経費の国による予算化を厚生労働省に申請し、全額の確保が実現した。

図書製作では、点字と各種デイジー形式での図書等の製作を、ほぼ予定通り行うことができた。近年、公的試験の問題、学習資料、会議資料等の点字化の依頼が増加しており、点字製作では、製作人材をやりくりしてこれに対応した。そのような中、10月には予想外の総選挙が実施され、限られた日数の中で全国の関係施設と連携して点字版の選挙公報を製作した。録音製作では、五つのデイジー種別（音声、テキスト、マルチメディア、シネマ、テレビ）すべての製作を手掛けた。7月には、全国に多数の読者を持つ月刊録音雑誌『ってんデイジーマガジン』が、創刊100号を迎えた。点字、録音ともに製作対象の多様化や製作方法の高度化が進んでいることから、職員と製作ボランティアを対象とする研修や設備の更新を行い、製作力の向上に取り組んだ。

新たな事業が加わり、当館の果たす役割はますます多岐にわたるが、事業の維持と発展には、支援者（寄付者やボランティア）と利用者の確保が欠かせない。そこで、29年度は、公開型の催しの実施や情報の発信に一層力を注ぎ、当館の社会的認知度の向上に務めた。当館が指定管理者として運営を担う川崎市視覚障害者情報文化センターでも、視覚障害者の関心が得られる催しや市内の公的施設へ出向いての相談会等を実施し、サービスの利用の促進に取り組んだ。

1. 自立支援事業の開始

自立支援室を新設し、相談支援事業を8月に、自立訓練（機能訓練）事業を12月に、それぞれ所管自治体の認可を受けて開始した。これら二つの事業は国の障害福祉サービス制度の中に位置づけられており、実施者には専門資格を有する担当者の配置や専用の設備の設置が義務付けられているため、開始までには相応の準備を必要とした。事業の安定化には利用者の確保が欠かせないことから、そのために、医療機関に出向いて説明会や相談会を実施したほか、東京都眼科医会が新設した「東京都ロービジョンケアネットワーク」に参加して、関係者との連携を強化した。

2. 読書の手段や方法についての啓発

情報機器の操作技術の習得を支援するために実施しているIT教室と機器操作体験クラスで、指導や説明に、デイジーやサピエによる読書の可能性についての内容を、適宜取り入れた。IT教室の受講者61人、操作体験クラスの参加者45人の中には、読書に関する情報を十分に持っていなかった中途視覚障害者もあり、指導や説明がデイジー機器の購入や当館の利用登録に繋がった例もあった。そのほか、来館者への対応や電話での対応で、サピエなどの情報を積極的に提供し、読書の可能性についての啓発を行った。

3. ニーズとともに発展できる製作体制の整備

当館には、テキストデイジーやマルチメディアデイジーなどのアクセシブルな電子書籍の製作に関する技術の集積があり、一部は極めて高度な水準にある。大学入試センターが行った試験問題の電子データ化の試行事業への協力などを通じて、当館が保有する関連技術の充実を図り、電子書籍や電子資料のアクセシブル化に関するニーズの進展への備えを強化した。また、点字製作でこれまで使用してきた点訳ソフトが旧式となって機能的な不具合や不備の発生が懸念されることから、新版ソフトへの切り替えを試行的に始め、そのための部門内研修を実施した。

4. 保有資料等の有効利用の促進

本格的な開設を前提に昨年11月に仮オープンした「ふれる博物館」では、企画展「日本の城」を11月から3月まで実施し、434人の来館者を迎えて好評を得た。この博物館は当館が保有する視覚障害関係の資料や用具を公開する場としても活用する予定であり、開設準備と並行して、それら公開品の整理と収蔵を進め、その一部を企画展とは別に展示した。

5. 広報活動の強化

当館の取組に関連する情報を、マスメディアやSNS、独自の刊行物を通じて、視覚障害者を含む社会の各方面に向けて積極的に発信した。このうち、当館が直接発信したもの以外（新聞、ラジオ、Web ニュース等）が 126 件を数えた。また、放送局の社会貢献活動との連携でアナウンサーによる朗読会や講演を実施するなど、情報発信のための話題作りにも努めた。さらに、社会福祉法人日本盲人職能開発センターのご協力で映像資料『視覚障害者の読書—日本点字図書館の活動』を制作し、Web ページでの公開など、当館の広報活動等での使用についての許諾を、同法人からいただいた。

I ≪社会福祉事業 1≫

視聴覚障害者情報提供施設の設置経営及び全国の視聴覚障害者情報提供施設に関する連絡事業

[利用サービス]

1. 図書情報提供サービス

サービスの実態

	平成 29 年度	平成 28 年度
① 利用登録者数	12,493 件	12,323 件
(新規登録者数)	468 件	369 件
(点字使用者数)	6,417 名	6,421 名
利用登録者の削除について		
新規登録者が前年度比で増加したが、一方で利用登録者を300件近く削除している。内訳として、ご逝去や、認知症・寝たきりなど高齢で読書が困難となったという理由が判明しているだけで60%以上を占めている。(平均年齢 75歳)		
② 点字図書の蔵書数および貸出・提供		
蔵書数 (タイトル)	21,359 タイトル	21,084 タイトル
(冊数)	80,255 冊	79,371 冊
蔵書数の変化 (新収書)	681 タイトル	689 タイトル
(除籍書)	1,998 冊	2,016 冊
(除籍書)	1,113 冊	2,144 冊
貸出数 (目標 8,000 タイトル)	7,678 タイトル	7,980 タイトル
(内 他館借受)	28,088 冊	30,365 冊
(内 他館借受)	418 タイトル	521 タイトル
(内 他館借受)	1,502 冊	1,971 冊
点字図書ダウンロード提供	998 タイトル	1,126 タイトル
(内 他館借受)	3,463 ファイル	4,134 ファイル
③ 録音図書の蔵書数および貸出・提供		
蔵書数 (タイトル)	18,141 タイトル	17,374 タイトル
(巻数)	47,521 巻	45,314 巻
蔵書数の変化 (新収書)	813 タイトル	925 タイトル

		4,198 巻	4,502 巻
	(除籍書)	1,991 巻	7,135 巻
貸出数			
(ア) カセットテープ		368 タイトル	500 タイトル
		2,285 巻	3,261 巻
(イ) CD図書 (目標 130,000 タイトル)		115,412 タイトル	118,382 タイトル
		116,280 枚	119,218 枚
	(内 他館借受)	13,530 タイトル	13,168 タイトル
(ウ) カセットテープ雑誌		0 巻	186 巻
(エ) CD雑誌 (にってんデイジーマガジン含む)		82,813 枚	84,368 枚
デイジー図書コンテンツダウンロード提供 (目標 60,000 タイトル)			
(ア) SDカード		50,903 タイトル	52,648 タイトル
	*内、テキストデイジー図書ダウンロード提供		
		222 タイトル	170 タイトル
(イ) CFカード		17,678 タイトル	18,999 タイトル
(ウ) その他		110 タイトル	43 タイトル
④ にってんデイジーマガジン (目標 6,500 名に配布提供)			
(ア) 個人配布 (CD)		6,324 名	6,372 名
(イ) 団体配布 (CD)		260 団体	257 団体
(ウ) 外国在住者配布 (CD)		10 名	10 名
(エ) 年間配布数 (CD)		77,287 枚	78,809 枚
(オ) サピエ図書館年間延べ利用		18,489 名	16,176 名
⑤ インターネット配信・サピエ図書館による資料の提供 (当館分)			
(ア) データのアップロード			
書誌データ	新規	1,255 件	1,291 件
	更新	3,335 件	4,514 件
	削除	104 件	258 件
点字データ		153 タイトル	149 タイトル
音声デイジー		581 タイトル	592 タイトル
テキストデイジー		452 タイトル	430 タイトル
マルチメディアデイジー		17 タイトル	16 タイトル
(イ) データのダウンロード (点字)			
プリントアウト		75 件	53 件
		107 タイトル	62 タイトル
		47,625 ページ	38,328 ページ
(ウ) 利用者によるダウンロード (当館制作コンテンツ)			
パソコン			
点字データ		25,990 回	21,995 回
音声デイジー		145,313 回	146,259 回
テキストデイジー		40,363 回	39,670 回
マルチメディアデイジー		530 回	863 回

携帯電話

音声デイジー	4,510 回	5,031 回
デイジーオンライン		
音声デイジー	244,106 回	221,508 回

⑥ レファレンスサービスおよび書誌データの整理

オンライン蔵書目録利用者が当館の蔵書の中から様々な角度からのアプローチで目的の資料を探し出せるよう、当館の目録規則に従った書誌データの整備を行った。

情報提供件数	88,649 件	79,565 件
情報提供先合計	7,015 件	6,515 件
(内 学生)	15 名	1 名
(内 社会人)	6,936 名	6,461 名
(内 団体)	64 団体	53 団体

⑦ 点字・録音図書の収集

点字購入図書	3 タイトル	7 タイトル
点字購入雑誌	15 誌	14 誌
録音購入図書	4 タイトル	3 タイトル
録音購入雑誌	1 誌	1 誌

⑧ 利用サービス部図書情報課による点字図書の製作選定

利用サービス部図書情報課の選書委員に一部製作選定権を与え、利用者ニーズの高い日本文学(小説)を中心に即時的に点字 12 タイトル、録音 6 タイトルを選定した。特に注目されていた「西郷どん！」林真理子著については、点字、テキストデイジー、音声デイジー、すべて国内でもっとも早く着手することができた。

⑨ テレビ・デイジーの利用促進と提供

NHK(日本放送協会)の許可を得て、音声解説付きで放送されているNHKのテレビ番組から職員が選定して録画し、音源をデイジー編集した当館オリジナルのサービスであるテレビ・デイジーについて、*「にっぺんデイジーマガジン*や当館のホームページにある蔵書検索・予約システムのWebOPAC、ツイッター、サピエ図書館の「施設からのお知らせ」の他、日本盲人会連合「声のひろば」や点字毎日等、積極的に広報活動を行い、視覚障害者等に対してCD等で提供を行った。

・テレビ・デイジー 総タイトル数 58 タイトル

平成 29 年度新規受け入れタイトル数 45 タイトル

平成 29 年度利用状況 年間貸出ベストリーダー 1 位がテレビ・デイジー「日本の話芸」。また、上位 100 位中、50 タイトルのテレビ・デイジーがランクイン。

⑩ 利用者用目録の製作と提供

・点字図書新刊案内「*にっぺんブレイル*」

(年 6 回、点字版 1,670 部)を編集・発行

・録音図書新刊案内「*にっぺんボイス*」

(年 6 回、点字版 1,510 部・墨字版 1,500 部・録音版 38,661 部
計 41,671 部)を編集・発行

なお、録音版については、「*にっぺんデイジーマガジン*」及び「サピエ図書館」で提供した。

・年間追加目録 点字図書 2017 年版 点字版を編集・発行

CD図書年間追加目録 2016 年版 デイジー版を編集・発行

- ・蔵書目録の頒布 211 部
 - 点字図書 点字版 34 冊頒布
 - 録音図書 点字版 76 冊、墨字版 7 冊、CD版 94 枚頒布
- ・シネマ・デイジー目録の頒布
 - 点字版 15 冊、墨字版 7 冊、CD版 43 枚頒布

⑪ 奥村文庫（視覚障害関係墨字資料室）

視覚障害に関わる情報収集を行い、問い合わせに対して適切な資料と情報の提供に努めた。

- ・視覚障害関係墨字資料の収集 1,555 点 2,317 点
- ・利用件数
 - 閲覧 388 件 269 件
 - レファレンス 823 件 177 件

⑫ プライベートサービス

- ・専門書を対象に事前予約制で対面リーディングサービスを実施した。

（目標：延べ 600 人）

延べ	493 名	549 名
利用時間	975 時間	1,072 時間
活動ボランティア	57 名	53 名

⑬ 点字教室・IT教室の開催

（ア）点字教室（目標：年 250 回）

開催回数	244 回	224 回
延べ受講者数	1,161 名	1,063 名
（新入生）	18 名	21 名
相談件数	135 件	124 件

（イ）IT教室

- ・初心者向けクラス（パソコン受講）

開催回数	76 回	87 回
延べ受講者数	16 名	19 名
実受講者数	12 名	16 名

- ・初心者向けクラス（iOS 受講 ※2016 年度より開催）

開催回数	239 回	171 回
延べ受講者数	52 名	39 名
実受講者数	47 名	37 名

- ・初心者向けクラス（パソコン+iOS、両方受講）

開催回数	10 回	25 回
延べ受講者数	2 名	5 名
実受講者数	2 名	4 名

- ・初めてパソコンにふれる人を対象とした、予約制による 1 回 90 分、原則 1 回（希望者には上限 2 回までの）の操作体験クラス

開催回数	33 回	13 回
受講者数	33 名	13 名

- ・初めて iOS にふれる人を対象とした、予約制による 1 回 90 分、原則 1 回（希望者には上限 2 回までの）の操作体験クラス（※2016 年度より開催）

開催回数	10 回	24 回
------	------	------

受講者数	10名	24名
・初めてiOSとパソコン両方にふれる人を対象とした、予約制による1回90分、原則1回（希望者には上限2回までの）の操作体験クラス		
開催回数	2回	2回
受講者数	2名	2名

(ウ) 点字教室修了者の自主活動（点字学習サークル）の支援

- ・多目的室を提供して、読書会などの活動支援と催し物・行事・募集などの情報提供を行った。

開催回数	19回	18回
延べ参加者数	317名	306名
情報提供回数	19回	18回

⑭ サピエ図書館の利用促進

引き続き、サピエ図書館の利用促進のため、IT教室体験クラスのメニューの中に組み込んでサービス概要を説明した。その他、来館者や電話、新規利用登録の際にも利用者の読書環境を考慮しながらも、積極的に説明を行った。

・当館を登録館としたサピエ新規個人登録者数	121名	104名
・当館を登録館としたサピエ個人登録者数	2,081名	1,952名
・当館の東京都在住の個人登録者数	3,622名	3,527名

⑮ サピエ図書館のシステム管理対応および改修予算獲得について

・11月24日早朝、サピエの会員管理システムのサーバで障害が発生し、サピエが全面停止となった。サピエを運営している全国視覚障害者情報提供施設協会に状況を報告し、開発保守管理業者（株）ネットワーク応用通信研究所）と連絡をとりながら障害対応となる調査と検証を行った。その結果、サーバのリソースメモリ不足であることが原因と判明し、増強することで障害発生から1日半後となる11月25日午後に全面復旧することができた。今後は開発保守管理業者側で、メモリの使用状況を定期的に監視することとなった。

また、3月28日、サピエ図書館の一部のサーバのリプレイスを行うため、サピエを全面停止した。予定ではほぼ1日かかるところであったが、午前中に入れ替え作業が完了したためスケジュールを前倒しとし、午後から無事にサービス再開することができた。

・国内の多くの点字図書館が導入しているサピエ図書館と一体化された出納業務管理システムであるWeb図書館について、電話やメール、サピエ研修会などで運用支援を行った。

・書誌データマークの変更(※1)や日本十進分類法第10版(※2)に対応するためのサピエ図書館およびWeb図書館の改修要件を作成した。改修期間は2年、改修費用は3,000万円を超える高額なため、厚生労働省に改修費用の相談をしたところ、平成30年度に改修費用の半額分を予算計上していただき、次年度も同額が予算計上していただける予定となった。

⑯ 学習障害や発達障害など、視覚障害以外の活字読書に困難を抱えた人たちへの録音図書提供

・新規利用登録者	3名（全利用登録者 32名）
----------	----------------

※1 書誌データマークとは

株式会社図書館流通センター(TRC)が提供している本の詳細情報を網羅したデータベースを書誌データマーク(TRCマーク)という。サピエ図書館や当館の基幹システムであるCLIS図書館総合システムでは、この書誌データマークを使用して書誌(目録)データベースを作成しているが、現在使用している書誌データマークUタイプが提供終了となり、Tタイプへの切り替えを行う必要が発生している。

※2 日本十進分類法とは

日本の図書館で広く使用されている図書館分類法のことを指し、本分野を区分し、検索しやすいようにするために使われている。

[図書製作]

1. 点字図書・触図等の製作

(1) 点字図書の製作、ボランティアの養成・指導

	平成 29 年度	平成 28 年度
① 発表点字図書数	184 タイトル 730 冊	185 タイトル 829 冊
(ア) ボランティアによる点訳書	150 タイトル 618 冊	150 タイトル 706 冊
(イ) 点字出版図書	34 タイトル 112 冊	35 タイトル 123 冊
② ボランティアの養成・指導		
(ア) ボランティアによる点訳受入実績	152 タイトル 634 冊	185 タイトル 820 冊
(イ) ボランティア数 (年度内点訳・校正実績有)	70 名	83 名
(ウ) 現役点訳者を対象とした点訳技術指導		
延べ実施数	4 回	5 回
延べ人数	66 名	79 名
③ リクエストによる点字図書製作・ボランティア実績 (東京都委託分)		
(ア) 点訳希望者	57 名	102 件
(イ) 点訳者	22 名	14 グループ

(2) 点字図書等の頒布、触図等の製作・監修

① プリンタ図書の頒布	12 件 20 冊 2,597 ページ	16 件 34 冊 2,796 ページ
-------------	---------------------------	---------------------------

② 点字プリントアウト・サービス	124 件 27,106 ページ	178 件 60,054 ページ
③ 点字出版図書の頒布	531 タイトル 1,576 冊	399 タイトル 804 冊
④ 点字図書給付事業取扱件数	166 件 348 冊	164 件 292 冊
⑤ 視覚特別支援学校理療教科用図書の頒布		
「医療と社会」点字版	29 件 116 冊	14 件 56 冊
「医療と社会」点字版（デジ版付き）	24 件 96 冊	7 件 28 冊
⑥ 視覚特別支援学校高等部用教科書の頒布		
「SELECT English Expression I」	13 件 39 冊	28 件 84 冊
「SELECT English Expression I New Edition」	26 件 78 冊	1 件 1 冊
「MY WAY English Expression II」	3 件 21 冊	5 件 35 冊
「科学と人間生活」	1 件 1 冊	37 件 222 冊
「科学と人間生活 新訂版」	31 件 186 冊	1 件 1 冊
⑦ 文部科学省著作教科書の製作		
特別支援学校中学部視覚障害者用「社会（公民的分野）」（3年生用）	36 件 324 冊	30 件 270 冊
⑧ 自費出版図書の発行など		
「中途視覚障害者のための点字入門」132冊を販売した。		
「ふれる世界の名画集」16冊を販売した。		
幾何学立体教材「いろんなかたちをさわってみよう」8冊を販売した。		
新しく「アクセシブルデザインー標識、設備及び機器への点字の適用方法（JISー日本工業規格ーT 0921:2017）10冊」を販売した。		
⑨ 団体・企業等からの依頼による触知案内図・点字サインの製作と監修		
公園案内板 各種の製作・監修		
駅施設案内板 各種の製作・監修		

2. 録音図書・録音雑誌・電子書籍の製作

(1) 録音図書の製作、ボランティア実績

	平成 29 年度	平成 28 年度
① 発表録音図書数	434 タイトル	544 タイトル

	3,868 時間	4,577 時間
(ア) スタジオ録音による製作図書 (朗読・デイジー編集)		
	159 タイトル	181 タイトル
	1,455 時間	1,642 時間
(イ) 録音図書ネットワーク製作システムによる製作図書 (朗読・デイジー編集)		
	186 タイトル	339 タイトル
	1,551 時間	2,935 時間
(ウ) シネマ・デイジーの製作 (デイジー編集)		
	8 タイトル	11 タイトル
(エ) テレビ・デイジーの製作 (デイジー編集)		
	45 タイトル	13 タイトル

② 録音図書のボランティア実績

(ア) 朗読ボランティア数 (年度内スタジオ録音実績有)	58 名	57 名
(イ) デイジー編集ボランティア数 (重複あり)	11 名	14 名
(ウ) 録音図書ネットワーク製作システム参加ボランティア数 (重複あり)	79 名	77 名
(エ) 現役朗読者を対象とした朗読技術指導		
延べ実施数	2 回	0 回
延べ人数	135 名	0 名

③ リクエストによる録音図書製作・ボランティア実績 (東京都委託分)

(ア) 録音希望者	78 名	160 件	1,500 時間	28 分
(イ) 朗読者	45 名			
(ウ) デイジー編集者	40 名			

(2) 録音雑誌の製作

録音雑誌 月刊「にってんデイジーマガジン」の製作とサピエ図書館への登録

(3) 池田輝子記念文庫製作事業

スタジオ録音及びデイジー編集により、130 タイトルの録音図書を製作した。

(4) 電子書籍の製作数

① テキストデイジー完成図書	557 タイトル	575 タイトル
② マルチメディアデイジー完成図書		
	10 タイトル	12 タイトル
	48 時間	48 時間

③ 電子書籍のボランティア実績

(ア) クラウドソーシング型図書校正システムを使った校正実績		
	547 タイトル	645 タイトル

	557 名		557 名
(イ) テキストデイジー編集ボランティア			
	54 名		57 名
(ウ) テキストデイジーボランティア向け講習			
	3 回		12 回
	3 名		65 名
④ リクエストによるテキストデイジー製作			
(ア) コミュニティサイトによる希望	108 件	27 名	119 件 22 名
(イ) プライベートサービスによる希望	1 件	1 名	5 件 2 名
⑤ リクエストによるテキストデータ製作			
プライベートサービスによる希望	26 件	6 名	21 件 5 名

[委託・補助・助成事業]

1. 厚生労働省委託事業

視覚障害者用図書等事業

	平成 29 年度	平成 28 年度
① 点字図書製作	30 タイトル 7,350 冊	35 タイトル 9,225 冊
② 点字図書貸出	398 タイトル 1,478 冊	445 タイトル 1,684 冊
③ 録音図書製作		
音声デイジー図書	15 タイトル	20 タイトル
マルチメディアデイジー図書	6 タイトル	8 タイトル
④ 録音図書貸出		
音声デイジー図書	1,169 タイトル	1,529 タイトル
マルチメディアデイジー図書	64 タイトル	125 タイトル

2. 厚生労働省補助事業

視覚障害者用図書情報等ネットワーク運営事業 (サピエ図書館)

	平成 29 年度	平成 28 年度
① 会員数	個人 16,015 名	15,206 名
	施設 368 ヶ所	343 ヶ所
② 目録タイトル	1,072,812 タイトル	1,044,642 タイトル
③ 点字データタイトル数	198,141 タイトル 748,365 件	187,416 タイトル 712,410 件
④ 年間点字データアップ数	11,430 タイトル	11,458 タイトル

⑤ 年間点字データダウンロード数			
	個人	728,891 タイトル	627,886 タイトル
	施設	21,948 タイトル	27,873 タイトル
⑥ 音声デジータデータタイトル数		80,846 タイトル	72,556 タイトル
⑦ 年間音声デジータデータアップ数		10,612 タイトル	9,430 タイトル
⑧ 年間音声デジータデータダウンロード数			
	個人	2,782,328 タイトル	2,551,267 タイトル
	施設	202,922 タイトル	190,572 タイトル
⑨ テキストデジータデータタイトル数		5,541 タイトル	4,078 タイトル
⑩ 年間テキストデジータデータアップ数		1,489 タイトル	1,370 タイトル
⑪ 年間テキストデジータデータダウンロード数			
	個人	199,654 タイトル	165,990 タイトル
	施設	4,075 タイトル	4,030 タイトル
⑫ マルチメディアデジータデータタイトル数		185 タイトル	141 タイトル
⑬ 年間マルチメディアデジータデータアップ数		54 タイトル	63 タイトル
⑭ 年間マルチメディアデジータデータダウンロード数			
	個人	3,143 タイトル	4,448 タイトル
	施設	384 タイトル	492 タイトル
⑮ 年間音声デジータデータストーリーミングタイトル数			
	個人	718,695 タイトル	665,551 タイトル
	施設	12,218 タイトル	9,773 タイトル
⑯ 年間目録検索件数		3,111,851 件	2,878,233 件
⑰ 年間オンラインリクエスト受信数		329,938 件	330,624 件
⑱ 全国の点字図書館・公共図書館等に対する情報提供		88,649 件	79,565 件
	内訳（複数提供あり）		
	電話	68,400 件	59,032 件
	点字・録音・墨字	23,701 件	18,536 件
	メール	2,359 件	1,227 件
	口答	1,532 件	1,183 件

3. 東京都委託事業

(1) 東京都視覚障害者用図書製作貸出事業

① 点字図書の製作・貸出

(ア) 製作	プリンタ図書	47 タイトル (167 巻×2部複製)
(イ) 貸出		305 タイトル 1,346 冊

② 声の図書の製作・貸出

(ア) 製作	50 タイトル (50 枚×5 部複製)
(イ) 貸出	3,679 タイトル 3,722 枚

③ 希望図書の製作

(ア) 点訳希望者	57 名	102 件	108,712 ページ
(点訳者	22 名	14 グループ)	
(イ) 朗読希望者	78 名	160 件	1,500 時間 28 分
(朗読者	45 名	編集者 40 名)	

(2) 東京都視覚障害者用図書レファレンスサービス事業

視覚障害者、施設・団体に対する情報提供数	36,932 件
内訳 (複数提供あり)	
電話	31,454 件
点字・録音・墨字	5,587 件
メール	622 件
口答	1,449 件

4. 東京都補助事業

東京都からの補助金を得て、都内貸出事業を実施した。

5. 川崎市視覚障害者情報文化センター運営委託事業

平成29年度は開館から4年目を迎え、より多くの川崎市の視覚障害者に利用してもらえるよう取り組んできた。図書館、用具、訓練の3種の事業のそれぞれの入り口から、必要に応じて他のサービスの利用につながるように相互に連携をとった。また文化的な事業として、音楽コンサート、音声解説付き映画体験会、ヨガ体験会などを積極的に開催し、センターをより身近に感じてもらえるよう努めた。図書の利用者数は約5%増え、点字図書・音声図書の製作はほぼ昨年同様、順調に行うことができた。訓練については、長期的な訓練よりもスポット的な訓練(分類上は「相談」)が増えてきている。また、DVD映画の音声ガイドの製作ではこれまで養成してきたボランティアにより6タイトルを製作することができた。

(1) 閲覧・貸出

	平成 29 年度	平成 28 年度
① 利用登録者数	446 名	424 名
(新規登録者数)	22 名	42 名
(点字使用者数)	123 名	117 名
② 利用登録団体	275 施設	264 施設
③ 点字図書の蔵書数および貸出・提供		
蔵書数 (タイトル)	2,933 タイトル	2,737 タイトル
(冊数)	10,814 冊	10,086 冊
蔵書数の変化 (新収書)	130 タイトル	136 タイトル
	368 冊	415 冊

貸出数	289 タイトル	287 タイトル
	976 冊	981 冊
(内 他館借受)	59 タイトル	40 タイトル
	179 冊	116 冊
(雑誌)	288 タイトル	324 タイトル
④ 録音図書の蔵書数および貸出・提供		
蔵書数 (タイトル)	5,619 タイトル	4,983 タイトル
(枚数)	5,623 枚	5,013 枚
蔵書数の変化 (新収書)	278 タイトル	181 タイトル
	283 枚	181 枚
貸出数		
(ア) カセットテープ	21 タイトル	22 タイトル
	95 巻	111 巻
(イ) CD図書	9,563 タイトル	10,543 タイトル
(内 他館借受)	5,929 タイトル	6,973 タイトル
(ウ) カセットテープ雑誌	42 タイトル	60 タイトル
(エ) CD雑誌	4,506 タイトル	4,799 タイトル
デジタル図書コンテンツダウンロード提供		
(ア) SDカード	1003 タイトル	757 タイトル
(イ) CFカード	600 タイトル	299 タイトル
(ウ) CD	5 タイトル	0 タイトル
⑤ レファレンスサービス情報提供件数	80 件	75 件
(2) 資料製作		
① 点字図書の製作数 (ボランティア数)		
(ア) 委託製作数	17 タイトル	17 タイトル
	79 冊	73 冊
(イ) 委託外製作数	23 タイトル	29 タイトル
	79 冊	116 冊
(ウ) 寄贈	21 タイトル	30 タイトル
	42 冊	80 冊
(エ) プライベートサービス	25 タイトル	21 タイトル
② 録音図書の製作数 (ボランティア数)		
(ア) 委託製作数 朗読	86 タイトル	61 タイトル
デジタル編集	104 タイトル	97 タイトル
(イ) 委託外製作数	189 タイトル	36 タイトル
(ウ) 寄贈	32 タイトル	17 タイトル
(エ) プライベートサービス	9 タイトル	9 タイトル
③ テキストデジタル図書の製作数	7 タイトル	6 タイトル
④ シネマ・デジタル・音声ガイドの製作数		
(ア) 委託製作数	15 タイトル	15 タイトル
(イ) センター内製作数	6 タイトル	3 タイトル

(3) 点訳ボランティア、朗読ボランティアの養成

① 点訳ボランティアスキルアップ研修会		
開催回数	2回	2回
受講者数	50名	80名
② 朗読ボランティアスキルアップ研修会		
開催回数	14回	4回
受講者数	14名	10名
③ 音声ボランティア養成講座	(未実施)	
開催回数	一回	16回
延べ受講者数	一名	101名
実受講者数	一名	7名
④ 点訳ボランティア養成講座		(未実施)
開催回数	16回	一名
延べ受講者数	100名	一名
実受講者数	7名	一名
⑤ 音声ガイド養成講座		
開催回数	8回	一回
延べ受講者数	72名	一名
実受講者数	9名	一名

(4) 訓練事業の取り組み

① 訓練	訓練者実数	48名	75名
	(新規訓練者数)	19名	20名
内訳 (複数提供あり、契約を結ばない短期訓練も含む)			
	歩行訓練	20名	41名
	パソコン訓練	11名	14名
	点字訓練	6名	9名
	生活訓練(日常・調理)	6名	11名
	その他	5名	0名
② 相談		132名	150名
③ 用具の展示と販売紹介	展示点数	323点	360点
	販売紹介点数	1,291点	1,233点

(5) 啓発普及

① 事業報告会等の開催			
7月	視覚障害者訓練事業説明会	参加者数	10名
2月	多摩区役所アトリウム(出前センター)	参加者数	25名
② 授業・講座への講師派遣			
6月	宮内中学校		
	「視覚障害者の生活について」(全3回)	延べ参加者数	75名
	日々輝学園高校「障害者理解」	参加者数	20名

	川崎小学校「視覚障害者の日常生活について」	参加者数	120名
7月	高津市民館 平和人権講座		
	「障がい者の気持ちになってみると・・・」	参加者数	50名
8月	福祉パル中原 チャレンジボランティア体験	参加者数	10名
	平塚盲学校		
	音声ガイド付きDVD映画体験会	参加者数	16名
10月	大師中学校「視覚障害者の日常生活と 盲導犬の果たす役割」	参加者数	約600名
③	訓練生交流会	開催数 2回	参加者数 14名
④	イベントの開催		
5月	「かわさき春のコンサート」	来場者数	25名
6月	読書会「花はさくら木」	来場者数	13名
9月	日本キルギス友好チャリティコンサート	来場者数	130名
	アロマ体験会	来場者数	16名
10月	訓練生屋外交流会（鉄道博物館）	来場者数	36名
12月	読書会「豆の上で眠る」	来場者数	6名
	「かわさき冬のコンサート」	来場者数	60名
1月	視覚障害者防災イベント	来場者数	32名
	朗読の馬頭琴のコンサート	来場者数	30名
2月	アイ eye センターまつり	来場者数	280名
	音声ガイド付き体験上映会	開催数 12回	延べ来場者数 439名
	歴史的音源を聴く会「れきおんクラブ」		
		開催数 6回	延べ来場者数 50名
	ヨガ体験会	開催数 5回	延べ来場者数 104名

6. 省庁・自治体からの委託・補助による事業

(1) 国立国会図書館関西館

学術文献録音図書オープンリールテープを用いたDAISY図書130タイトルを製作した。

(2) 東京都消費生活総合センター

CD版「東京くらしねっと」の作成及び配布 6回 4,662部

(3) 東京都教育庁委託事業

高等学校教科用点字図書製作及び提供 302巻 31,849ページ

(4) 和歌山県教育庁委託事業

高等学校教科用点字図書製作及び提供 57巻 3,654ページ

(5) 各市区町村委託事業

①	「広報しんじゅく」	点字版製作及び配布	36回	1,345部
②	「しんじゅくの教育」	点字版製作及び配布	4回	143部
③	「点字版わたしの便利帳」	(新宿区) 点字版製作		60部
④	「さっぽろ市議会だより」	点字版製作及び配布	4回	920部
		音声版		920部

7. 公的機関・団体・企業等からの委託及び助成・補助による事業

- (1) 社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業団
第2回国際視覚障害者囲碁大会の開催助成 (6月25日 出場者46名)
- (2) 社会福祉法人NHK厚生文化事業団
 - ① 「ラジオ文芸館」8タイトル、「古典講読」等、全12種類(音声デージー版)の受入貸出
 - ② 「NHK障害福祉賞入選作品集」テープ版を5組、音声デージー版を80枚製作
 - ③ 国際視覚障害者囲碁大会 東京大会の開催助成 (6月25日 出場者46名)
- (3) 社会福祉法人中央共同募金会
 - ① 埼玉県民共済生活協同組合
点字図書9タイトル、録音図書9タイトルを製作・貸出
 - ② 全国労働者共済生活協同組合連合会
点字図書2タイトル、録音図書2タイトルを製作・貸出
- (4) 社会福祉法人日本盲人福祉委員会
平成29年度衆議院選挙公報の点字版を3,398部製作、音声版を2,530部複製
- (5) 社会福祉法人読売光と愛の事業団
 - ① ロービジョン機器等相談事業の実施
 - (ア) 相談事業
全5回(6月24日、8月19日、2月17日、10月21日、12月16日)
参加者 29名
 - (イ) ロービジョン機器取扱者研修会と機器貸出セット長期貸与の実施
【研修会】全2日(7月5日、7月6日 4施設計 延べ12名参加)
【機器貸出セット長期貸与】神奈川県ライトセンターへ33点を貸出
 - (ウ) 職員研修の実施
1月26日 39名参加
 - (エ) ロービジョン向けグッズの充実
新型の携帯型読書器等、218件 1,632点を貸出
 - ② 専門対面リーディングサービス事業の実施 利用者数 493名
 - ③ 点字ディスプレイ清華 V3Pro の購入助成 2台購入
- (6) 公益財団法人JKA
「障害のある人が幸せに暮らせる社会を創る活動」として、録音雑誌「医学研究」及び「ホームライフ」を月1回年12回製作・発行
配布先：利用者「にってんデジーマガジン」に収録して配布
点字図書館 合計 984枚
ハンセン病施設 合計 156枚
- (7) 公益財団法人鉄道弘済会
録音雑誌「ブックウェーブ」を月1回年12回製作・配布(「にってんデジーマガジン」に収録して配布)

- (8) 公益財団法人東京都人権啓発センター
機関誌「TOKYO 人権」マルチメディアデイジー版を年 4 回製作、CD200 枚複製、サ
ピエ図書館で配信
- (9) 公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会
中学校数学教科書マルチメディアデイジー版を 3 タイトル製作
- (10) 公益財団法人日本テレビ小鳩文化事業団
点字カレンダー38,590 部の製作
- (11) 公益財団法人パブリックリソース財団
点字・録音図書製作のための原本購入
- (12) 公益財団法人早川清文学振興財団
「ハヤカワライブラリー」10 タイトルを製作し、163 ヶ所へ配布(計 1,800 枚)
- (13) 公益財団法人一ツ橋総合財団
- ① 録音図書「一ツ橋文庫」10 タイトルを製作・貸出
 - ② テキストデイジーの製作・提供
 - ③ マルチメディアデイジー教材製作システムの維持
- (14) 公益財団法人毎日新聞東京社会事業団
第 2 回国際視覚障害者囲碁大会の開催助成 (6 月 25 日 出場者 46 名)
- (15) 公益信託久保記念点字図書援助基金
利用者貸与用プレクストーク PTR3 (1 台)、PTN3 (7 台) の購入費の助成
- (16) 公益信託東京日本橋ライオンズクラブ立川福祉基金
SD カードコピー機およびCF カードコピー機の購入費
- (17) 一般財団法人NHK サービスセンター
点字版「NHK ウイークリーガイド」(週刊)を週 1 回、年 52 回発行
- (18) 一般財団法人日本宝くじ協会
点字図書 4 タイトル、録音図書 (音声デイジー) 3 タイトル、録音図書 (マルチメ
ディアデイジー) 3 タイトルを製作・貸出
- (19) 一般社団法人全国腎臓病協議会
機関紙「ぜんじんきょう」CD 版を 640 枚複製・配布
- (20) 一般社団法人日本アマチュア無線連盟
「点字 JARL・NEWS」を年 4 回、475 冊製作
- (21) 株式会社岩波書店
岩波新書等のデイジー版を製作・貸出
- (22) 株式会社廣濟堂
内閣府音声広報CD「明日への声」年 6 回、 29,387 部発送

- 点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん」年6回、29,460部製作・発送
- (23) 株式会社佼成出版社
「立正佼成会会報」(月刊)のテープ版を3,447巻、CD版を3,682枚複製
- (24) 株式会社資生堂
季刊録音雑誌「おしゃれなひととき」を合計489枚製作・配布・サピエ図書館で配信、
「にってんデイジーマガジン」に収録・配布
- (25) ソニー株式会社
新製品情報「聞くカタログ 第55号」を製作・サピエ図書館で配信、「にってんデイジーマガジン」に収録・配布
- (26) 宝印刷株式会社
見学者向け「事業のご案内」パンフレットの製作助成
- (27) 株式会社トーハン
175タイトル、221冊の原本及び資料提供を受け、点字・録音図書を製作・貸出
- (28) 株式会社ニッポン放送 第43回ラジオ・チャリティ・ミュージックソン実行委員会
録音図書のデイジー編集製作に係る経費の助成
- (29) 株式会社文藝春秋
①録音雑誌「声の文藝春秋」を月1回年12回製作・配布（「にってんデイジーマガジン」に収録して配布）
②原本20冊の寄贈を受け、点字図書を製作・貸出
- (30) 三菱商事株式会社
新規事業の自立支援事業に必要な支援機器や訓練に使用する杖など揃えるための購入費。
- (31) 東京日本橋ライオンズクラブ
第2回国際視覚障害者囲碁大会の開催助成（6月25日 出場者46名）

《社会福祉事業2》

障害福祉サービス事業及び特定相談支援事業の経営

1. 自立支援事業（新設）

日本点字図書館自立支援室を新設し、8月1日より指定特定相談事業を、12月1日より自立訓練（機能訓練）を開始した。

指定特定相談支援の中の基本相談では82件の相談が寄せられたが、内容としては、視機能が下がった状態での用具の紹介（白杖・拡大読書器・ルーペ等）が最も多く、同行援護や機能訓練等の福祉サービスの紹介がそれに続いた。計画相談においては、13件中、当事業所の訓練につながったケースは2件。他は同行援護の利用や職能開発センターにつなげ

る就労移行支援で計画を立てるケースがほとんどであった。

また、自立訓練（機能訓練）では当事業所で提供できる訓練が複数（歩行とICTなど）利用されている。

- (1) 相談支援
 - 基本相談 82 件
 - 計画相談 13 件
- (2) 自立訓練（機能訓練）
 - 実人数 3 人 延べ回数 34 回
 - （訓練内訳）1 人で複数の訓練を含む
 - 歩行訓練 2 人 15 件
 - 点字訓練 1 人 5 件
 - ICT 訓練 1 人 7 回
 - 日常生活訓練 1 人 7 回
- (3) 医療機関に出向いての相談会
 - 東京女子医科大学病院 7 回
 - 井上眼科 3 回
 - 中野総合病院 6 回

II 《公益事業》

盲人生活用具の開発と普及及び国際視覚障害者情報提供協力事業

1. 視覚障害者用具の販売斡旋

	平成 29 年度	平成 28 年度
(1) 取扱商品点数	887 点	892 点
販売斡旋数	85,641 点	97,331 点
(2) 新商品（新規取扱商品）	24 点	40 点
主な新商品：おでかけマスコット、GRUS ボイス電波腕時計、クローバー10（拡大読書器）、スタンドポケット、立つタテ型ピーラー、なごみケーションにゃんこ、プレクストーク PTN3、PTR3、マスキングテープ、ユニバーサル財布、ライオンのおしゃべり温湿度計、レンジグリル RG-HS1		
(3) 海外諸国への輸出件数	10 件	8 件
主な輸出国：台湾、韓国、モンゴル、シンガポール 主な販売商品：白杖、触読腕時計、音声置時計、血圧計、バレーボール、サッカーボール、オセロゲーム、囲碁盤、N632 小型点字器、ビジュアルイーズ、白黒反転ノート、レター用スミ字ガイドセット・A4、ルーペ、など		
(4) 体験会・展示会		
① 各種機器体験会の実施	45 回	47 回
② 展示会への出展	13 ヶ所	15 ヶ所
③ 用具商品の貸出展示	33 回	18 回
（貸出先：点字図書館、盲学校、視覚障害支援施設、など）		

- | | | |
|---------------------------------|----|----|
| ④ ゲーム会の開催 | 6回 | 6回 |
| うち、どうぶつしょうぎ大会1回、クリスマスゲーム会1回 | | |
| ⑤ 補装具・日常生活用具制度の説明、各種相談会開催 | 3回 | 6回 |
| ⑥ 東京女子医科大学病院眼科外来3階待合室にて相談コーナー参加 | 3回 | 6回 |
- (5) インターネットショッピングサイト「わくわく用具ショップ」の運営
- | | | |
|----------|---------|---------|
| ① 会員数 | 4,535名 | 4,081名 |
| ② 新規会員数 | 454名 | 455名 |
| ③ 受注件数 | 5,609件 | 5,449件 |
| ④ 受注商品点数 | 29,616点 | 31,369点 |
- (6) インターネットショッピングサイト「わくわく用具ショップYahoo!店」の運営
- | | | |
|----------|--------|--------|
| ① 新規会員数 | 629名 | 713名 |
| ② 受注件数 | 760件 | 830件 |
| ③ 受注商品点数 | 1,103点 | 1,228点 |
- (7) 広報の充実
- ① 新商品情報誌「ニュー用具タイムズ」を年4回製作。(4月、7月、12月、2月)
「にってんデイジーマガジン」、「サビエ図書館」にコンテンツを提供した。
 - ② 「ホームライフ」の「わくわく用具タイム」のコーナーで、新商品を8回紹介した。
 - ③ インターネットショッピングサイト「わくわく用具ショップ」会員に対して、メールマガジンを配信し、新商品のお知らせやイベントを紹介した。
 - ④ フェイスブックを活用した広報を行い、新商品の紹介、体験会やイベントの紹介などの投稿を18回行った。
 - ⑤ 日本盲人社会福祉施設協議会用具部会の一員として、第44回国際福祉機器展H. C. R. 2017に出展し、来場した介護の現場で働く方々に対して施設を利用する視覚障害者の不便さを説明し、それを解決する商品の紹介やサポート方法を案内した。
- (8) 企業CSRとの連携
- 三菱商事株式会社、三菱食品株式会社、三菱鉱石輸送株式会社、東京海上日動安心110番株式会社、株式会社アートコーヒーによるCSR活動の一環であるボランティア活動において、用具事業課で使用する点字シールや封筒を製作していただいた。

2. 厚生労働省委託事業

	平成29年度	平成28年度
盲人用具販売あつ旋事業	14種 20,753点	15種 22,505点

3. 池田輝子ICT奨学金事業

池田輝子基金により第14回池田輝子ICT奨学金事業を実施した。

実施期間：平成29年6月25日～7月7日 中級クラス
平成29年7月7日～7月9日 エンパワメント講習
平成29年7月10日～7月22日 上級クラス

場 所：ペナン(マレーシア)

講習生：18名(中級10名、上級8名)

4. アジア盲人図書館協力事業

一般社団法人霞会館の助成によりコンピュータ点字製作技術指導講習会を実施した。

実施期間：平成29年10月18日～21日

実施場所：カンボジア王国

参加者：11名

III <<収益事業>>

マンションの設置経営

2棟の賃貸マンション(総戸数34戸)を運営し、生じた収益は、社会福祉事業及び公益事業に充当した。

IV <<本部事業>>

1. 寄付・助成金の増収

(1) 毎年継続の寄付の依頼状発送に加え、新規寄付者獲得に努力した。

	平成29年度	平成28年度
新規寄付者	295名	295名
総件数	8,838件	9,144件

(2) ワンブック・プレゼント運動

点字図書	10件 39口	10件 41口
録音図書	15件 69口	13件 62口
シネマ・デイジー		1件 1口

(3) イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンに参加し、店頭でご支援を呼びかけた。

実施店舗 イオン品川シーサイド店 9回

2. 日本点字図書館カード会員の拡大

見学者、チャリティ映画会・コンサート、「日本点字図書館オープンオフィス」来場者に対して加入勧奨のパンフレットを配布し、加入者の拡大を図った。

3. チャリティ映画会・コンサートの実施

(1) チャリティ映画会の開催

平成 29 年 9 月 21 日(木)なかのZERO大ホール

『湯を沸かすほどの熱い愛』 来場者 385 名

平成 30 年 3 月 15 日(木)なかのZERO大ホール

『この世界の片隅に』 来場者 400 名

(2) チャリティコンサートの開催

第 15 回本間一夫記念日本点字図書館チャリティコンサート

平成 29 年 11 月 30 日(木)東京文化会館 小ホール

「川島成道ヴァイオリン・リサイタル～愛の旋律～」来場者 326 名

4. 第 14 回本間一夫文化賞の贈呈

藤野稔寛氏 (点字・点図編集ソフト「エーデル」開発者)

5. 第 24 回にってん野路菊賞の贈呈

森田茂樹氏 (中途視覚障害者の相談対応及び読み書き技術の習得への貢献)

6. 広報誌その他の活動

- ① 広報誌「にってんフォーラム」(年 4 回、各 5,600 部)を発行した。
- ② 「感謝録」(10,000 部)を発行し、寄付者を中心に関係団体等に配布した。
- ③ 「事業案内」(8,000 部)を発行し、寄付依頼に同封するとともに、関係者(団体)及び見学者、行事の参加者等に配布した。
- ④ ホームページから定期的に情報を発信した。訪問者数の合計 519,647 件、ページ閲覧数の合計 1,118,877 件
- ⑤ ツイッターによる情報発信を延べ 567 件おこない、フォロワー 2,576 名を獲得した。
- ⑥ 見学の受入 219 件 1,024 名

7. イベントの実施、他団体への協力

(1) 主催

① 日本点字図書館オープンオフィス

開催日時：平成 29 年 11 月 11 日(土)・12 日(日)

11 日 ・第 14 回本間一夫文化賞贈呈式

講演「成長し続けるエーデル」

藤野稔寛氏 (点字・点図編集ソフト「エーデル」開発者)

・にってん野路菊賞贈呈式

・勇退奉仕者感謝状贈呈式

・講演「時代の曲り角に立って」

田中眞紀子氏 (元衆議院議員)

- ・講演「映画で世界を広げよう 拡大出張版」
平塚千穂子氏・田中正子氏（バリアフリー映画鑑賞推進団体
シティライツ）

- 12日
- ・講演「まあるい地球の仲間たち in 日本点字図書館」
イルカ氏（シンガーソングライター・IUCN 国際自然保護連合親善大使）
 - ・トークイベント「ラジオと私～永六輔さんの思い出と共に」
外山恵理氏（TBSアナウンサー）

来場者数：延べ1,000名

- ② TBSアナウンサーによる夏のホラー朗読会の実施
開催日時：平成29年7月15日（土）
来場者：96名
- ③ 視覚障害者と支援者のための防災イベントの実施
開催日時：平成30年1月20日（土）
- ④ DVD映画音声解説体験上映会「光と愛のシネマ」
12回 延べ参加数 414名

（2）共催

- ① 第2回国際視覚障害者囲碁大会（NPO法人日本福祉囲碁協会）
開催日時：平成29年6月25日（土）
参加数：46名
- ② 第2回“とっておきのアイデア”コンテスト（公益財団法人共用品推進機構）
応募作品：124作品

（3）協力

- ① 「サイトワールド2017」ガイドボランティア講習会
開催回数：全2回
参加者：12名
- ② よむよむ・わくわく広場 in 府中
開催日時：平成29年11月26日（日）
- ③ 就労移行支援としてのマッサージサポーター協力
開催回数：23回（4月7日～2月16日いずれも金曜日、延べ43人）

8. についてんカルチャー講座の開催 _____

「折り紙教室」「囲碁教室」「エスペラント語教室」「英会話教室」を実施した。

9. 「ふれる博物館」を試行的に開設 _____

プレオープン 企画展「日本の城」
平成29年11月10日（金）から平成30年3月31日（土）
来場者数：434名

V 《会議・研修・福利厚生》

1. 会議

(1) 理事会・評議員会の開催

- | | |
|--------|----|
| ① 理事会 | 4回 |
| ② 評議員会 | 2回 |

(2) 部課長会議・課長会議・グループリーダー会議の開催

- | | |
|--------------|-----|
| ① 部課長会議 | 12回 |
| ② 課長会議 | 7回 |
| ③ グループリーダー会議 | 10回 |

(3) 各委員会の開催

- | | |
|-------------------|-----|
| ① にってんフォーラム編集委員会 | 8回 |
| ② 福利厚生事業実行委員会 | 7回 |
| ③ ホームページ制作委員会 | 1回 |
| ④ 選書委員会 | 12回 |
| ⑤ 音声解説DVD上映委員会 | 12回 |
| ⑥ 施設公開実行委員会 | 10回 |
| ⑦ 安全衛生消防委員会 | 1回 |
| ⑧ チャリティ映画選考委員会 | 1回 |
| ⑨ 本間記念室・ふれる博物館委員会 | 10回 |
| ⑩ 国際委員会 | 0回 |
| ⑪ 事業運営検討委員会 | 7回 |

2. 研修

(1) 表彰関係

① 奉仕者（外部表彰）

- | | |
|---------------------|----------|
| (ア) 東京都知事感謝 | 2名 |
| (イ) 東京都社会福祉協議会会長表彰 | 5名・1グループ |
| (ウ) 日本盲人社会福祉施設協議会表彰 | 2名・1社 |

② 職員

(ア) 理事長表彰

- | | | |
|--------|---------|----------|
| 永年勤続表彰 | 職員 | 4名 |
| | パートタイマー | 6名 |
| 表彰状 | | 1グループ |
| 特別感謝状 | | 1名 |
| 感謝状 | | 1グループ |
| 奨励賞 | | 3グループ、1名 |

(イ) 外部表彰

- | | |
|---------------------|----|
| 日本盲人社会福祉施設協議会（永年勤続） | 2名 |
|---------------------|----|

(2) 職員研修

① 内部研修

- ・「ルーペの原理と倍率について」平成 29 年 9 月 6 日（水）
出席者 45 名
- ・「視覚障害リハビリテーションを知る」
平成 29 年 9 月 15 日（金）・10 月 13 日（金）・12 月 8 日（金）
出席者 9 月 15 日 40 名／10 月 13 日 27 名／12 月 8 日 30 名
- ・人事考課の評価者対象の研修 平成 30 年 3 月 13 日（火）
出席者 11 名

② 外部主催研修 35 件、延べ 84 名

③ 派遣研修

社会福祉法人日本ライトハウス養成部「平成 29 年度視覚障害生活訓練等指導者養成課程 1 年基礎 I」へ 1 名を派遣

3. 福利厚生

- (1) 職員健康診断を 99 名(高田馬場 87 名、川崎 12 名)に実施した。
- (2) ストレスチェックを 97 名(高田馬場 85 名、川崎 12 名)に実施した。
- (3) 職員全体の福利厚生事業として「ぶらり江戸気分 ～両国へ粋ましよう～」(両国にて昼食会と博物館見学)を実施した。

開催日：9 月 11 日（月） 出席者 75 名